

あなたの力をお貸しく下さい!!

教育コーディネーター
(香美町地域おこし協力隊)



募集中!

兵庫県立 村岡高等学校

地域おこし協力隊について

地域おこし協力隊とは

- 制度概要：都市地域から過疎地域等の**条件不利地域に住民票を異動**し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「**地域協力活動**」を行いながら、**その地域への定住・定着を図る**取組。
- 実施主体：地方公共団体
- 活動期間：**概ね1年以上3年以下**
- 地方財政措置：
 - ◎地域おこし協力隊取組自治体に対し、概ね次に掲げる経費について、**特別交付税措置**
 - ① 地域おこし協力隊員の活動に要する経費：隊員1人あたり440万円上限
(報償費等240万円〔※〕、その他の経費(活動旅費、作業道具等の消耗品費、関係者間の調整などに要する事務的な経費、定住に向けた研修等の経費など)200万円)
※ 隊員のスキルや地理的条件等を考慮した上で、最大290万円まで支給可能とするよう弾力化することとしている(隊員1人あたり440万円の上限は変更しない。)
 - ② 地域おこし協力隊員等の起業・事業承継に要する経費：最終年次又は任期終了翌年の起業する者又は事業を引き継ぐ者1人あたり100万円上限
 - ③-1 地域おこし協力隊員の募集等に要する経費：1団体あたり200万円上限
 - ③-2 「おためし地域おこし協力隊」に要する経費：1団体あたり100万円上限
 - ◎都道府県が実施する地域おこし協力隊等を対象とする研修等に要する経費について、普通交付税措置(平成28年度から)
 - ◎都道府県が実施する地域おこし協力隊員OB・OGを活用した現役隊員向けのサポート体制の整備に要する経費について、普通交付税措置(令和2年度から)



地域おこし協力隊導入の効果

～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取組～

地域おこし協力隊

- 自身の才能・能力を活かした活動
- 理想とする暮らしや生き甲斐発見

地域

- 斬新な視点(ヨソモノ・ワカモノ)
- 協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与える

地方公共団体

- 行政ではできなかった柔軟な地域おこし策
- 住民が増えることによる地域の活性化

隊員数、取組団体数の推移

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
隊員数	89人	257人	413人	617人	978人	1,629人 (1,511人)	2,799人 (2,625人)	4,090人 (3,978人)	4,976人 (4,830人)	5,530人 (5,359人)	5,503人 (5,349人)
団体数	31団体	90団体	147団体	207団体	318団体	444団体	673団体	886団体	997団体	1,061団体	1,071団体

※総務省の「地域おこし協力隊推進要綱」に基づく隊員数

※平成26年度以降の隊員数は、名称を統一した「田舎で働き隊(農林水産省)」の隊員数(26年度:118人、27年度:174人、28年度:112人、29年度:146人、30年度:171人、元年度:154人)と合わせたもの、カッコ内は、特別交付税算定ベース。

隊員の**約4割は女性**

隊員の**約7割が20歳代と30歳代**

任期終了後、**約6割が同じ地域に定住**
※H31.3末調査時点

教育コーディネーター（地域おこし協力隊）

村岡高校に常駐し、教育コーディネーターとして地域の教育資源を掘り起こし、学校や地域関係者等と協力しながら「地域づくり」「人づくり」の教育実践、教育支援を行う。

おもな活動内容

- ① 学校設定科目・総合的な探究の時間等の企画及び連絡調整
（地域学入門・地域探求・ｽﾍﾟｰｽ・村高発地域元気化ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ等）
- ② 学校が地域イベントへ参画するための仕掛けづくり
（みかた残酷マラソン・村岡ダブルフルウルトラランニング・但馬牛ゆったりウォーク等）
- ③ 地域の若者との連携のコーディネート
（香美町若者懇話会・村岡おんがえしﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ・美方青年会議所等）
- ④ 地域活性化のために小中高が連携した活動のコーディネート

教育コーディネーターは何をするの？

授業の企画,連絡,調整 ☎ 探究活動のテーマ設定、授業内容等の相談。

授業の準備と記録 📄 配布物作成、内容整理、情報共有。

授業のサポート 🗨️ 難しい概念や感覚を翻訳して伝える。レポート、添削。

プレゼン指導 🗨️ パワポや小論の、アドバイス面接練習。

渉外業務 🗨️ 出張、視察対応など。

広報活動 📷 写真を撮って、広報に使う。

各種会議 🗨️ 高校支援連絡会、香美町地域おこし協力隊連絡会等。

町内団体への加盟

👤 各種マラソン大会事務局、香美町ウォーキングネットワーク会議 等。

たとえば...

オンライン授業サポート



実習授業サポート



学校案内パンフレット作成



学校紹介動画作成



村岡高校はどんな学校？(その1)

(1) 生徒の状況 (2020年度)

全校生徒 169名 [6クラス]

1年57名 (2クラス) / 2年62名 (2クラス)

3年50名 (2クラス)

(2) 教職員の状況 (2020年度)

①教職員 17名 校長1・教頭1・教諭14・養護教諭1

②臨時講師 6名

③時間講師 9名

④事務職員 5名 事務長1・事務員2・校務員2

①兵庫県北部（但馬地域）の山間部（関西随一のスキー場で名高いハチ北スキー場の麓）、美方郡香美町にあり、1学年は2クラスの小規模校である。非常に雪深い地域で、冬には運動場でスキーのクロスカントリーの授業を行っている。

②村岡高校は兵庫県の第5学区に属し、連携校方式が採用されており、多くは近隣の3中学（2020年度は73%）から入学してくる。また、急速な過疎化が進行し、年々生徒数も減少してきている。

村岡高校
はここ！



村岡高校はどんな学校？(その2)

村高祭（学校祭）での全クラス演劇
（1988年～現在）
今年度は動画配信中

村岡高校はどんな学校？(その3)



部活動加入率 **110%** (実人数加入率 **91%**)

スキ一部 兵庫県 男子 **30** 連覇・女子 **11** 連覇!

近畿大会 男子総合 **2** 連覇

村岡高校はどんな学校？(その4)

村岡高校の変遷

- 2004年度** 全日制普通科1学年3クラス
普通コース2クラス・国際文化コース1クラス
- 2006年度** 国際文化コース募集停止
学級減 (1学年2クラス)
- 2011年度** 地域創造類型設置 (特色ある学校づくり)
- 2013年度** 学級減 (1学年1クラス)
- 2014年度** 地域アウトドアスポーツ類型に改編
2類型設置 (地域創造系・地域アウトドアスポーツ系)
《学区なし：全国募集》
学級増 (1学年2クラス)
- 2020年度** 全日制普通科1学年2クラス
地域アウトドアスポーツ類型 (地域創造系・地域アウトドアスポーツ系)

文科省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」 研究指定校

ちいき大好きプロジェクト ～郷土愛を育む「村岡メソッド」の開発～

但馬地域が輩出した日本のペスタロッチと言われた東井義雄。彼の「村を育てる学力」の理念は、現在の教育に通じる。本プロジェクトは、生徒が地域での学びを通して、「**村(地域)を育てる学力**」等を身につけるとともに、どの地域で暮らしてもふるさとを愛する、未来型人材の育成を行う。

村岡高校のある香美町の魅力

- 山・川・海の豊かな自然環境
- 但馬牛・マツバガニなど豊富なブランド食材
- スキー・登山など多様なアウトドアスポーツ施設

香美町の課題

- 若い世代の流出による人口減少の加速化と少子高齢化の進展
- 地域を支える担い手の高齢化による観光産業等の後継者問題
- 雪不足など気象変化の影響によるスキー以外の魅力づくり

村岡高校の目指す姿

地域を愛し、地域課題の解決に寄与する「人づくり」「地域づくり」

＜研究開発の目標＞ 地域と連携、協働した実践的、体験的な取組が郷土愛を育むとともに、「人づくりネットワーク」を構築し、未来型人材を育成する「村岡メソッド」を開発する。

【村岡メソッドのイメージ図】

地域を知る

- ・コミュニケーション能力
- ・課題発見能力
- ・自ら学びに向かう力
- ・探究活動の手法

- ・観光施設経営者等による講義
- ・地域での調査実習
- ・地域関係者への提案

地域を深める

- ・新たな価値を創造する能力
- ・自己表現能力
- ・議論する力

- ・地域での探究活動
- ・全国の地域づくりを学ぶ合宿研修
- ・スポーツツーリズムの企画、提案

地域を創る

- ・課題解決能力
- ・プレゼンテーション能力
- ・コーディネート能力
- ・郷土愛

- ・卒業論文「私の地域活性化プラン」の作成・発表
- ・スポーツに関する資格取得
- ・HP・インスタグラムを活用した地域の魅力発信
- ・クラウドファンディングを活用した地域活性化プランの実現
- ・町長と将来の町について語り合う

＜村高発 地域元気化プロジェクト（全校生）＞

残酷マラソン大会等の企画運営スタッフ、5グループ（地域福祉・民芸・食文化・環境・吹奏楽団）の地域協働活動、村高フォーラム（探究活動の成果発表・パネルディスカッション）

地域を育てる学力を身につけた、地域を愛する未来型人材の育成

事業対象学科の生徒数

学科	1年	2年	3年	合計
普通科	57	62	50	169

学校全体の生徒数

学科	1年	2年	3年	合計
普通科	57	62	50	169



目指す生徒像
地域の現状を理解し、地域課題発見・解決に寄与する学びから「新たな地域資源を創造する」意欲を持つ生徒。

高校生が地域づくりに関わる実践(地域系高校)

「このままでは高校や地域が存続できない」という危機意識

地域衰退に危機感をもった地元の行政やコミュニティが高校に働きかけて一緒に地域づくりを進めようとするケース

**島根県立
隠岐島前高等学校等**

生徒数が減少するなかで、高校が生き残りをかけて地域に働きかけて一緒に地域づくりを進めようとするケース

**兵庫県立
村岡高等学校**

村岡高校が取り組む具体的な地域づくり

1

村高発！地域元気化プロジェクト

(総合的な探究の時間 1単位)

①民芸班・②吹奏楽団・③食文化班・④環境班・⑤地域福祉班
マラソン全国大会全校生スタッフ・村高フォーラム・総合発表会 他

2

地域アウトドアスポーツ類型の授業

(学校設定教科：地域探求 各1単位)

【地域創造系科目】 地域学入門・地域探求Ⅰ・地域探求Ⅱ

【アウトドアスポーツ系科目】 地域学入門・地域スポーツⅠ・地域スポーツⅡ

3

高校生ふるさと協働活動



1

村高発

地域元気化プロジェクト

[総合的な探求(学習)の時間 1単位]



村高発 地域元気化プロジェクト

■ 学年縦割で編成したグループ活動

■ 地域と協働した活動を各班で展開

■ 全校生が地域イベントのスタッフとして参加

■ 活動成果を全校生や地域へ発表

村高発 地域元気化プロジェクト2020

活動グループ名	活 動 内 容
民芸	演舞班：踊りと太鼓の出前演舞活動。出前レッスン活動。 紙漉き班：射添紙復活プロジェクト協力
吹奏楽団	施設、病院等へ吹奏楽出前コンサート活動。近隣小学校へ出前レッスン活動。
食文化	村岡食材研究、商品開発、地域イベントで郷土料理提供サービス活動
環境	A班：「棚田保全」 B班：「森の健康診断」 / 冬季：村高除雪隊
地域福祉	地域福祉班：聞き取り調査し支援策を検討・実践活動 集落調査班：集落の魅力を発信するための集落調査活動

開催月日	全 班 参 加 活 動 内 容
6月上旬	みかた残酷マラソンに学校行事（全員参加）として企画から参画2020年度中止
9月下旬	村岡タフルフルマラソンに学校行事（全員参加）として企画から参画2020年度中止
10月10日(土)	3年生中心に住民を招いて開催する「村高フォーラム」で活動発表
3月9日予定	2年生中心に校内で活動発表会を開催

村高発地域元氣化プロジェクト (総合的な探究の時間)



民芸班 蘇武の演舞や木遣り太鼓を地域イベントで披露し、地域の方々に夢と希望、感動と共感を与え、地域に若い活力を届けたい!



紙漉き班 長須地区の射添和紙復活プロジェクトに参加し、マラソン大会の賞状作成や地元小学生の体験授業のスタッフ等に取り組んでいます。



吹奏楽団 地域イベントでの演奏だけでなく、地域で吹奏楽をする小学生に訪問指導、福祉施設への訪問演奏を行い、「相手も自分も楽しめる演奏」がしたい!



集落調査班 小規模集落の魅力発信プロジェクトの一環として、集落に調査に入り、魅力を発見し、発信していく活動を行っている。




環境A班 棚田百選にも選ばれた地域の美しい棚田で、棚田の景観を保全する活動の一環として、地域住民と協働して棚田米を作りたい!



環境B班 「森の健康診断」 地域にある人工林の調査を行う。「木の駅プロジェクト」 間伐材を利用し、地域通貨と交換するシステムを体験し、広報することを地域と協働して行う。



地域福祉班 今後の地域に何が必要なのか。高校生に何ができるかを考え、支援策を検討し、実践する。
(写真：地域の老人ホームアレクシアーションを掲載)



食文化班 高校生として「食」の観点から地域活性化の為にどのようなアプローチができるかを考え、地域の人々と協働して、「食」を通して地域活性化を目指したい!

みかた残酷マラソン全国大会 村岡ダブルフルクルランニング 全校生スタッフ参加 (2020年度は中止)



村岡区・小沢区で開催されるマラソン大会でも、全校生がスタッフとして参加。高校生はランナーが気持ちよく大会に参加できるよう、担当する場所で大会運営を支えています。

スタート直後のランナー応援
完走証の発行
地域住民とエイド準備

村高フォーラム

【プレゼン・ポスター発表】 学習の成果をまとめ、一般参加者・全校生に発表する。


【記念講演】 ゲストを招き地域づくりを学ぶ。

【パネル討論会】 地域づくりをテーマに、行政や地域住民と共に討論する。



プレゼンテーション
2018年度講演 (千原のふたば)
パネル討論会
ポスターセッション

総合学習発表会 (2021年3月9日発表予定)



総合的な学習の時間発表会
別別プレゼンテーション
外部講師による講演

年度末に各班で取り組んできた一年間の活動と成果をまとめ、全校生の前で発表します。発表後、外部講師の方から発表方法や活動内容について講評をいただき、次の活動につなげていきます。



地域を支える一人として地域に関わる



2

～特色ある類型～

地域アウトドアスポーツ類型

地域創造系 / アウト'アスポ'ーツ系



～地域アウトドアスポーツ類型～

地域創造系



私たちは
村岡高専！地域元気化
プロジェクト
地域EPR
をする！！



「地域探求」って何をまなぶの？

地域創造系の学習のねらい

知識ではなく、学ぶ方法を学ぶ。(課題解決能力を培う)

地域を知る

地域学
入門
(1年次)

地域を深める

地域
探求 I
(2年次)

地域を創る

地域
探求 II
(3年次)

地域の自然と歴史

各分野の専門家の
視点から「郷土」
を知る。

課題の設定

知ることによって発生
した疑問や問題
に対する解決方
法を、調査活動
を通して探る。

地域への提言

「課題」に対する、
調査活動と提言書
の作成。

地域学
入門

地域を知る

(地域創造系1年)

地域の専門家から地域資源と
探求の視点を学ぶ



地域
探求 I

地域を深める
(地域創造系2年)

地域を調査し、
探求テーマを設定する

【59期生 探求テーマ】

ふるさとと教育教材開発プロジェクト

「香美町ふるさとものしり博士」の聞き取り調査を行い、「香美町ふるさとものしり博士」を活用したふるさと教育に関する小中学校向けの教材開発(ゲーム開発)を行い、より体系的にふるさとについて学びを深める一助としたい。



大学教員による講義



教材開発中



開発した教材のプレゼン

地域
探求Ⅱ

地域を創る
(地域創造系3年)

課題解決へ向けて
計画を実行し、地域へ発信する

テストプレイ実施 (小学生)

ゲーム改善WS
(香美町教育委員会・ものしり博士参加)

【59期生 探求テーマ】

ふるさとと教育教材開発プロジェクト

ものしり博士カルタ

アユの人生ゲーム

村づくりゲーム

コロナ禍におけるオンライン授業の試み



@地域学入門（1年地域創造系）・・・4回(5/18・25、6/3・8実施)

授業内容「授業リインテ-ション」「私のむらの自慢」発表

@地域探求Ⅰ（2年地域創造系）・・・4回(5/19・26、6/1・9実施)

授業内容「明日香村の石碑紹介」「香美町の石碑紹介」

@地域探求Ⅱ（3年地域創造系）・・・6回(4/30、5/14・22・27、6/2・10実施)

授業内容「ゲームプラン紹介」「グループ討議によるゲームの改善」

@スピーチ（3年選択）・・・3回(5/19・28、6/2実施)

授業内容「私の夢」・「自宅までの道案内」・「私のおすすめの〇〇」発表

【2020年度 合宿研修:地域創造系2年】 2020.8.5 奈良県明日香村 オンライン研修：文化財を活用した地域づくり

奈良県明日香村における文化財を活用した地域活性・地域づくりを学び、香美町の文化財を活用した地域づくりの方策を考える。またコロナ禍における観光のあり方・すすめ方についても討論。



明日香村会議室



村岡高校会議室



ワークショップ風景

【過去の訪問先】（夏季休業中に2泊3日で実施）

- | | |
|-------------|-----------------|
| 2012年～2015年 | 島根県海士町 |
| 2016年 | 山口県長門市俵山地区 |
| 2017年 | 山口県宇部市ときわミュージアム |
| 2018年 | 岡山県西粟倉村 |
| 2019年 | 島根県太田市 |

教育講演会

講師：保母武彦島根大学名誉教授



高校生による「地域づくりサミットin但馬」



香美町長講演&討論会

【地域探求公開講座】

「香美町のまちづくり」



講師：浜上勇人 香美町長
(2020.7.29実施)



今年度は町長から問題提起していただいた「①コロナ禍から観光・産業を立て直す方策」「②少子高齢化・人口減少に打ち勝つ方策」の2つのテーマでワークショップを行った。

香美町長への 「地域活性化プラン」 提言(2015年～)



2015年(平成27年)3月6日 金曜日

日 本 海 新 聞

地域活性化プランを収めた卒業論文を手渡す村岡高生。5日、香美町役場



村岡高生が香美町長に 活性化プラン提言

3年間の
学習集大成

香美町村岡区の県立村岡高の生徒が5日、高で実施されている地域教育に一貫性をもたせよう提言。村岡小、中学校のふるさと教育を調査し、内容の重複を指摘、年代に応じて徐々にステップアップする方法を提示して「地域と共に歩む教師」となり、教育機関のつながりをつくりたい」と宣言した。上田さん、上田菜月さん、福田静也君の3人が町役場を訪れ、これまでの学習の集大成として発表した。

井上さんは、幼小中ホスピスを提案した。浜上町長が「人口減少を防ぐために、どこに力を注いだらいいか」と問うと、3人は「住みたい気持ちで誘発するために観光に力を入れては」と堂々と答えた。

3人は、昨年度と本年度の卒業生20人分の同プランを収録した卒業論文集とDVDを町や議会に寄贈。浜上町長は「町政運営の材料にしたい」と応えた。(綾木めぐみ)

日本海新聞

村岡
専売所・通信部
0796
98-1010



～アウトドアスポーツ類型～

アウトドアスポーツ系

アウトドアスポーツ[ODS]系

ODS系とは？

■ 地域にある資源を活かしたアウトドアスポーツの魅力を伝えられるリーダー育成のために、アウトドアスポーツイベントの運営補助や指導法を学び関連する資格の取得を目指す。

アウトドアスポーツ[ODS]系の展開

1 学年

地域学入門

アウトドアスポーツの体験とスポーツ理論を学ぶ。

- ・スポーツ概論
- ・スポーツ指導論
- ・トレーニング理論
- ・栄養学
- ・鍼灸
- ・コンディショニング実習
- ・アウトドアスポーツ体験
- ・野外合宿

2 学年

地域スポーツ I

健康づくりと地域活性
スポーツ観光と地域活性

3 学年

地域スポーツ II

健康づくりと地域活性
スポーツ観光と地域活性

冒険教育 I・II

アウトドアスポーツインストラクターの資格取得

生涯スポーツ探究 I・II

ゴルフ・スキー等の技術修得

スポーツ実践 I・II

トレーニング理論と実践

1年アウトドアスポーツ系

地域の自然環境を活かしたアウトドアスポーツを
専門家に指導していただく。

アウトドアスポーツ体験

- 懸垂下降
- マウンテンバイク
- ツリーイング
- スノーボード ほか



懸垂下降



ツリーイング



マウンテンバイク



地域学
入門

2年アウトドアスポーツ系 探求テーマ「健康づくりと地域活性」

介護予防体操による身体機能改善



- 元気体操サークルの普及
- 体力測定による身体機能改善状況の分析
- ご当地体操普及活動および創作活動
- 高齢者の健康づくりに関する取組

3年アウトドアスポーツ系 探求テーマ「健康づくりと地域活性」

2021年開催ワールドマスタースズゲームズ関西のオリエンテーリング競技が香美町で実施されるためオリエンテーリングを学び、健康増進のための普及活動を行う。

@オリエンテーリング体験



@コース作成



@コース設置



@体験スタッフ

- ・地元小学校授業
- ・土曜チャレンジ学習事業

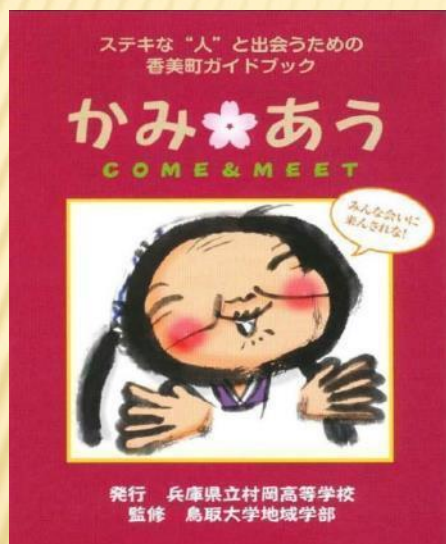


村岡高校の地域探求活動による

発行物

地域創造系 おもな成果物

2013年度



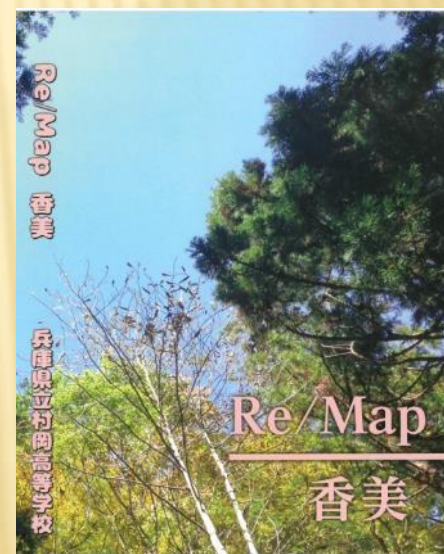
香美町人物
ガイドブック
『かみ*あう』

2014年度



みかた残酷マラソン
『お・も・て・な・し』

2015年度



DVD
『Re/Map香美』

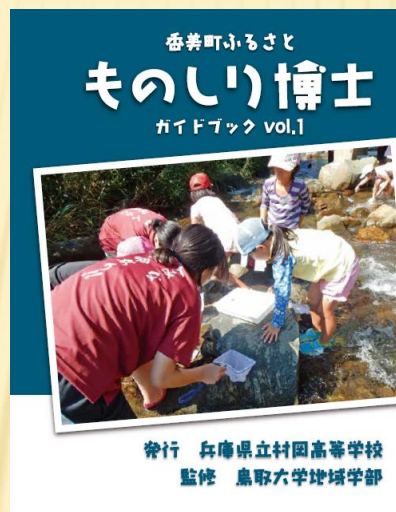
地域創造系 これまでの成果物

2016年度



香美町集落ガイドブック
『むらの風景』 vol.1

2017年度



香美町ふるさと
『ものしり博士』

2017年度



八幡山国際彫刻公園
ガイドマップ

地域創造系 おもな成果物

2018年度



八幡山公園 国際彫刻
ガイドマニュアル

2018年度



八幡山公園
国際彫刻公園再生
プロジェクト
報告書

2018年度



香美町集落ガイドブック
『むらの風景』vol.2
(総合学習と合同)

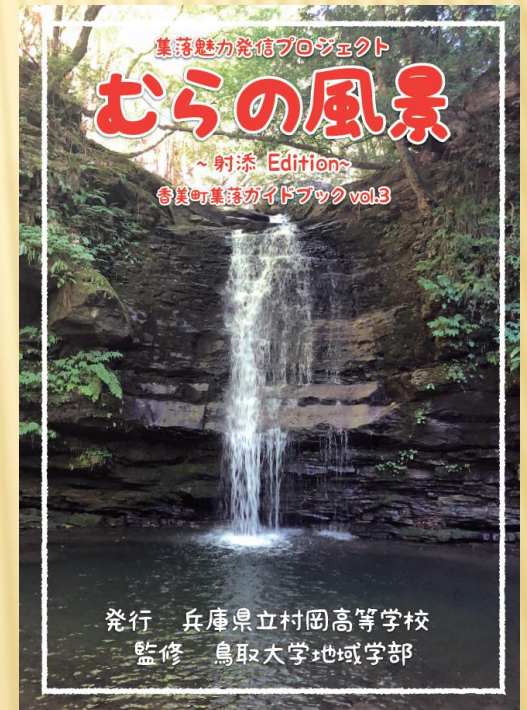
地域創造系 おもな成果物

2019年度



村岡まち歩きゲーム
『目指せ!村岡ものしり博士』

2019年度



香美町集落ガイドブック
『むらの風景』 vol.3
(総合学習と合同)

アウトドアスポーツ系 おもな成果物 (香美町ウォーキングマップ)

plan
4

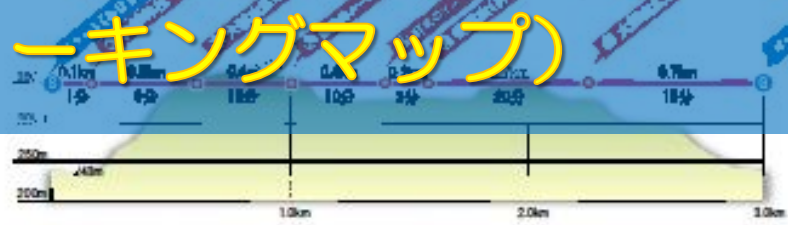


蘇武岳(そぶがたけ)への登山道から、かつて山名氏が陣屋を構えた御殿山公園までの周回トレーニングコース。アップダウンはありますが、落ち葉のじゅうたんが足や腰にも優しく、木漏れ日の中リラックスしながらのトレーニングに最適です。

お問い合わせ/兵庫県立村岡高等学校(香美町村岡区村岡2981) ☎ 0798-94-0001

Plan&wellness data

- ▽距離 約 3.0 km
- ▽時間 約 70 分
- ▽歩数 約 6,900 歩
- ▽消費カロリー 約 260 kcal (ペース 1 割分)
- ▽運動強度 9 ~ 15
- ▽標高差 約 130 m



一部コース整備中



1. 蘇神社
蘇武岳(そぶがたけ)の登山道入り口にある神社で、旧御殿山の古村を再利用して建てられたものでおなじみとされているお社が特徴です。
村岡町(こが)の「30の年輪歴史」と題し、この町に創られた歴史と誇りという思いが詰まっています。この町は「30の年輪歴史」と題し、この町に創られた歴史と誇りという思いが詰まっています。この町は「30の年輪歴史」と題し、この町に創られた歴史と誇りという思いが詰まっています。



2. 愛宕社跡
NKKの遺跡がアマノ小太郎が味方のモデルとなった加藤藤の主人が、香美町村岡を移して築いたお社跡とされ、御殿山の麓から山頂を遡り、目下立派な城下町や城跡を眺めながら食事したようです。明治5年6月に火災のため蘇神社へ移され、現在は遺跡のみが残っています。

3. 萬人講石碑
西日本では年の守護神として大日如来の信仰が盛んであり、その縁日に牛をつれて参拜し、境内の草や雑草を刈り取って丸まり餅餅を牛小唄に作るなどの風習も広がった。また、蘇田は万人講(萬人講)などを結成して食料を集め、それによって貧民の救済を講行していた。方式なども異なる(世界大百科事典より)。



蘇武岳
香美町と豊岡市との境界にそびえる標高1044mの山。兵庫の山の中で、夏場の避暑地や登山者の憩いの場として、古くから知られてきました。大正時代から山頂まで歩道の整備がすすんでおり、頂上からは巨鳥空や山頂の展望が一望でき、蘇武岳山頂から山や鳳凰山、日本海を見渡す大パノラマが楽しめます。

お問い合わせ/村岡観光協会 ☎ 0798-94-0123

道の駅「村岡ファームガーデン」
本場「但馬牛」や山菜などを使った郷土料理が食べられるレストラン、休園施設、村岡の牧場や大田に育てられた但馬牛を売っているショップ、農産物ならではのリースアップの施設で、スイーツはもちろん但馬牛を使ったスイーツもたくさんあります。園内にはお土産や特産品売場もあり、但馬牛の精肉店もあります。

営業時間/レストラン 11:00~19:00(LD18:45)
喫茶 10:00~、特産品売場 9:00~19:00
休業日/なし
☎ 0798-98-1129



喫茶・お食事やまご
ボリューム満点の「お好み焼き」や「カツカレー」など豊富なメニューにも人気の食卓です。フードテラスのほかに、全園の様々な「農産物」やスイーツを味わうことができます。

営業時間/9:30~21:00(LD20:30)
休業日/日曜日(翌日の祝祭日は営業)
〒670-0142 香美町村岡区村岡425
☎ 0798-98-1007



地域創造類型卒業論文「私の地域活性化プラン」

地域創造類型
卒業論文集 2013/2014

私の地域活性化プラン



2015年3月5日
兵庫県立村岡高等学校

地域創造類型 2 期生

卒業論文

目次

巻頭言 田中哲也 校長 | 兵庫県立村岡高等学校

要旨一覧

ムラン 1
7p 空き家を再利用した在宅ホスピス 東竜也

スノン 2
12p 地域の教育を繋ぐ一本の軸 井上陽菜子

ムラン 3
18p 医療の発展による産業活性化 今井伸弥

スノン 4
26p 観光・イベントによる地域活性化計画 上田菜月

スノン 5
32p 医療の充実で活気ある町に 小西菜津美

スラン 6
37p 健診巡回バスを利用して めざせ長寿村!! 田野歩佳

スラン 7
43p スポーツと地域活性化 田村理紗

スノン 8
48p 地域を支える人材育成のための教育 西田将馬

スノン 9
53p Iターンにつなげる食と農 西村さおり

スノン 10
58p 地域で行う終末期医療 福田静也

スラン 11
64p 人が来なくなる活気ある町へ 矢野泰山

おわりに 関 耕二 准教授 | 鳥取大学地域学部教育学科



3

高校生ふるさと協働活動



地域とともに歩む村岡高校



あいさつ運動

生徒会が中心となって、通学路や小学校、中学校、高校の校門付近を「挨拶ロード」と名付けて、毎月1回挨拶運動を行っています。



合同芸術祭・湯舟川コンサート

吹奏楽をはじめとする文化部の発表会を開催し、地域の方々や中学生との交流を深める芸術祭として実施している。



中学校部活動交流

地域中学と部活動合同練習を開催し、高校生が中学生に指導するなどして交流を図っている。

地域とともに歩む村岡高校



放課後子ども教室

村高発地域元気化プロジェクト地域福祉班が放課後に小学校を訪問し、小学生と遊びを通して交流する。



土曜チャレンジ学習事業

地域の子どもたちにとって有意義な土曜日を実現するため香美町が行う「土曜チャレンジ学習事業」に特別協力隊として参加している。



ふるさとおもしろ塾スタッフ

村岡中央公民館が小学生対象に行う「ふるさとおもしろ塾」に高校生がスタッフとして参加している。

連携先機関

村岡高校

- ・地域探求
- ・総合学習



大学等の研究機関

- 鳥取大学
- 兵庫県立大学
- 島根大学 ● 福井大学
- 履正社医療スポーツ専門学校



地域の行政機関

- 香美町役場
- 香美町教育委員会
- 香美町福祉協議会
- 地域おこし協力隊
(教育コーディネーター)



地域の専門家

- 山陰海岸ジオパーク推進員
- 地元歴史研究家
- NPO法人

2020高大連携（鳥取大学地域学部）

「学校運営連携協議会」のアドバイザー：山根俊喜 氏【鳥取大学地域学部長】

「地域創造教育サポーター」の設置：鳥取大学地域学部の学生に委嘱

アドバイザー

科 目

テーマ

白石秀壽 氏

【地域創造コース 講師】

地域学入門
(地域創造系 1年)

「マーケティングを活用した地域づくり」

アルカンダー・ギンツ 氏

【国際地域文化コース 講師】

地域探求Ⅰ
(地域創造系 2年)

国際的・芸術的・文化的アプローチ
「石碑を巡る香美の旅」

武田信吾 氏

【人間形成コース 准教授】

地域探求Ⅱ
(地域創造系 3年)

香美町ものしり博士を活用した
「ふるさと教育の教材ゲームの開発」

関耕二 氏

【人間形成コース 准教授】

地域スポーツⅠ
(スポーツ系 2年)

健康づくりと地域活性
「介護予防体操による身体機能改善」

講 師

授 業 名

内 容

石山雄貴 氏

【人間形成コース 講師】

総合的な探究の時間
(発表会)

助言（評価と課題・展望について）

永松大 氏

【農学部 教授】

総合的な探究の時間
(環境B班)

「森の健康診断」（人工林の調査）

筒井一伸 氏

【地域創造コース 教授】

総合的な探究の時間
(集落調査G)

「集落の魅力発見プロジェクト」
(小規模集落がイノベーションづくり)

地域の行政機関等



学校運営連携協議会
(香美町・鳥取大学・同窓会・PTA・
小中学校・地域代表・高校)



町長講演会・討論会
「香美町の現状と
課題について」



高校生議会
(香美町議会・議会事務局)



未来ミーティング
(香美町企画課と)



森の健康診断
(香美町農林水産課と)



香美町挨拶運動
(香美町教育委員会と)

地域の専門家



但馬の植生
(地元講師)



但馬の地質
(地元講師)



村岡歴史探索
(地元講師)



アウトドアスポーツ実習
(とちのき村)



紙漉き体験
(地域おこし協力隊)



水生昆虫調査
(地元講師)

村岡高校の担う役割

生徒の声（地域創造系卒業生）

●地域探求の活動で活性化に取り組んでいる人と話をすることで新たな発見があった。古里が好きになった。

●地域探求で地域の多くの人に会った。地域が若者に大変期待していることが分かった。

●私は香美町職員となって香美町の課題に正面から向き合って活性化に貢献したい。

●地域探求で自分の考えが大きく変わった。大学を卒業して地元に戻る。そして、私の地域活性化策（卒業論文）を実行に移したい。

大学講師の声(寄稿文より)

発見したのは、思いを持った教員のみなさま、地域おこし協力隊などを含めた地域の方々、そして、村岡の人々の関係性のなか
で大きく成長していく生徒たちであった。

私から見れば、「地域の隠された魅力」というのは、村高そのものであり、みなさんであった。卒業生のみなさんは、どうか誇りに思ってもらいたい。他に、こんな高校はないのだから。私は本当に、村岡高校の
ような学校で、学んでみたかった。

地域の声

●私は町の抱える課題に取り組んでいる村高の「応援団」です。ぜひ香美町に残って町づくり、地域づくりにがんばってください。これからも応援します。

●村岡高校の存続は、私たちの地域の存続でもあります。学校を失った地域が急速に求心力を失っているのはみなさんもお存じのとおりです。今本当に手を打たなければこどもたちの未来はありません。

地域社会で村岡高校が担うポジションは…

村岡高等学校は、

協働のまちづくりの拠点

地域の未来を創造する人づくりの拠点

「村を育てる学力」

「みじめな村をさえも

見捨てず、愛し、育て得るような、

主体性をもった学力」

(東井義雄(1957)『村を育てる学力』明治図書)

村を捨てる学力

- 競争型教育
- 受験のための知識獲得
- 地域の若者を都市へ
送り出す装置としての学校

地域(村)を育てる学力

「**地域(村)を育てる学力**」とは地域住民とともに地域課題を実践的に解決するプロセス(地域づくりの過程)を通して、生徒自らが地域の魅力を探し、その魅力を活用した地域課題の解決を考案し実践することで、よりよい未来の創出に資する活動を展開することができる学力。

「**地域(村)を育てる学力**」は将来にわたって自ら主体的に地域のポテンシャルを見だし、地域活性化に協働・参画する資質・能力として具現化されるものであり、生徒が希望する多様な進路にも対応するものである。

展望①

高校を核とした産官学地連携による
「地域を育てる学力」の構築を目指す!

展望②



村高フォーラム2020討論会テーマ
「地域と学校 / 『教育のまち』を創る」

「大人の探究コミュニティ」の構築

展望③

地域探求ハンドブック(2021年秋発行予定)

書籍タイトル(案)

高校から変わり始めた地域
～高校現場の知恵と生徒・学校・地域の育ち～



あなたの力をお貸しください!!

教育指針「人みな使命あり」

お問い合わせは 村岡高校(教頭:岡田)まで!!

TEL 0796-94-0201

地域おこし協力隊の募集要項については香美町ホームページをご覧ください

